

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-139704

(43)Date of publication of application : 25.05.1999

(51)Int.CI.

B66B 3/00

B66B 1/14

B66B 3/02

(21)Application number : 09-307350

(71)Applicant : HITACHI BUILDING SYSTEMS CO LTD

(22)Date of filing : 10.11.1997

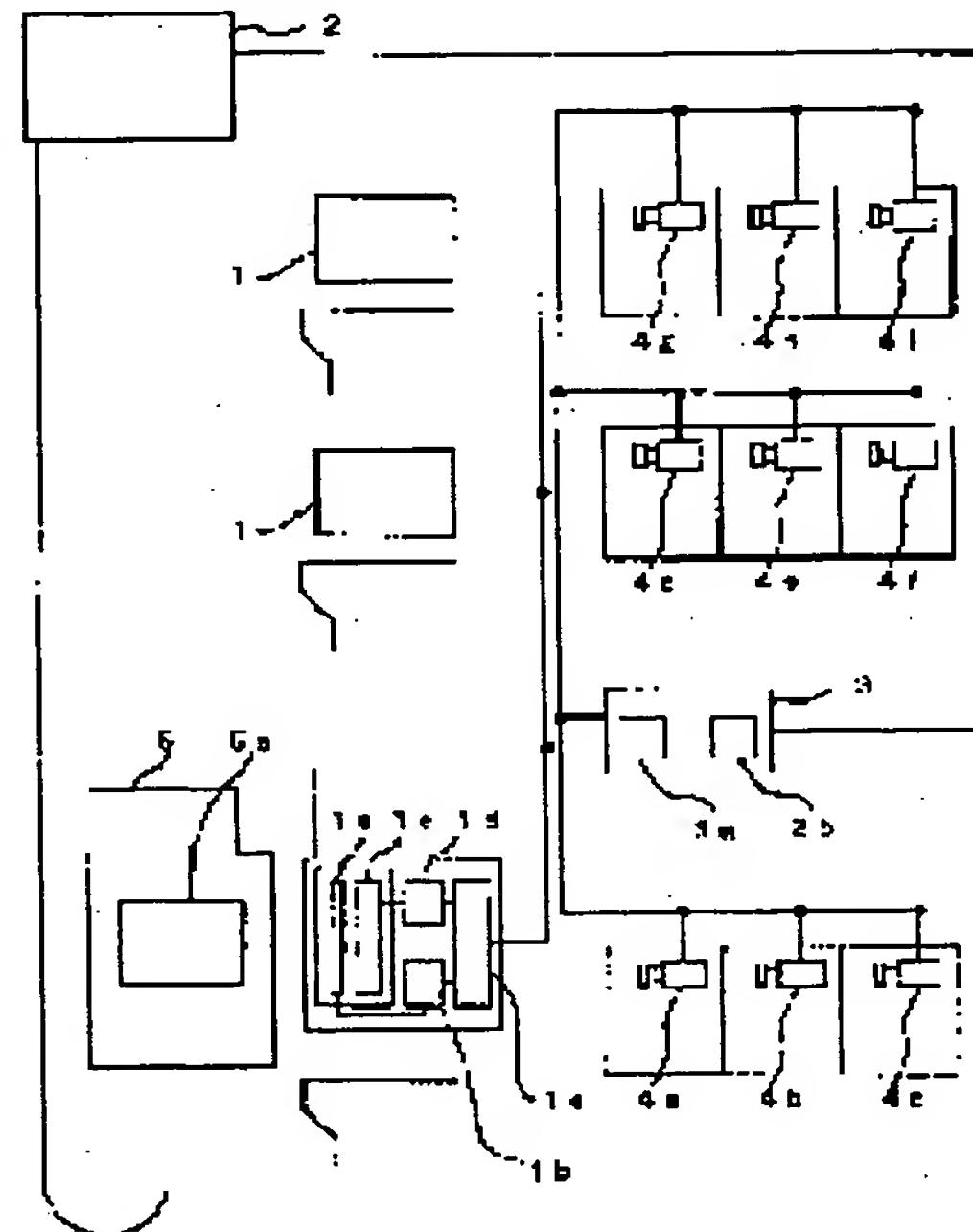
(72)Inventor : SAITO KUNITOSHI
HIRAI YOSHITAKA
SONOI TAKEO

(54) DESTINATION STORY REGISTRATION DEVICE FOR ELEVATOR

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a destination story registration device for an elevator, which enables a person to find a story on which an objective tenant or shop takes up his residence, without putting a question to a guide.

SOLUTION: A touch-panel type display 1 for outputting operating signals by a finger touch operation is installed at least on either one of landing of stories and a car 5, information on tenants is displayed on the touch-panel type display 1, and a central processing unit 3 for performing screen control is provided. A registering means for registering a story in which a tenant is living, as a destination story, when the tenant displayed on the touch-panel type display 1 is chosen, is provided in the central processing unit 3.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 06.09.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 02.07.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-139704

(43) 公開日 平成11年(1999)5月25日

(51) Int. C1.6

B 6 6 B 3/00

識別記号

1/14

3/02

F I

B 6 6 B 3/00

K

Z

1/14

3/02

K

K

審査請求 未請求 請求項の数 1

OL

(全5頁)

(21) 出願番号

特願平9-307350

(22) 出願日

平成9年(1997)11月10日

(71) 出願人 000232955

株式会社日立ビルシステム

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地

(72) 発明者 斎藤 国壽

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 株式

会社日立ビルシステム内

(72) 発明者 平井 輿志隆

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 株式

会社日立ビルシステム内

(72) 発明者 園井 健夫

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 株式

会社日立ビルシステム内

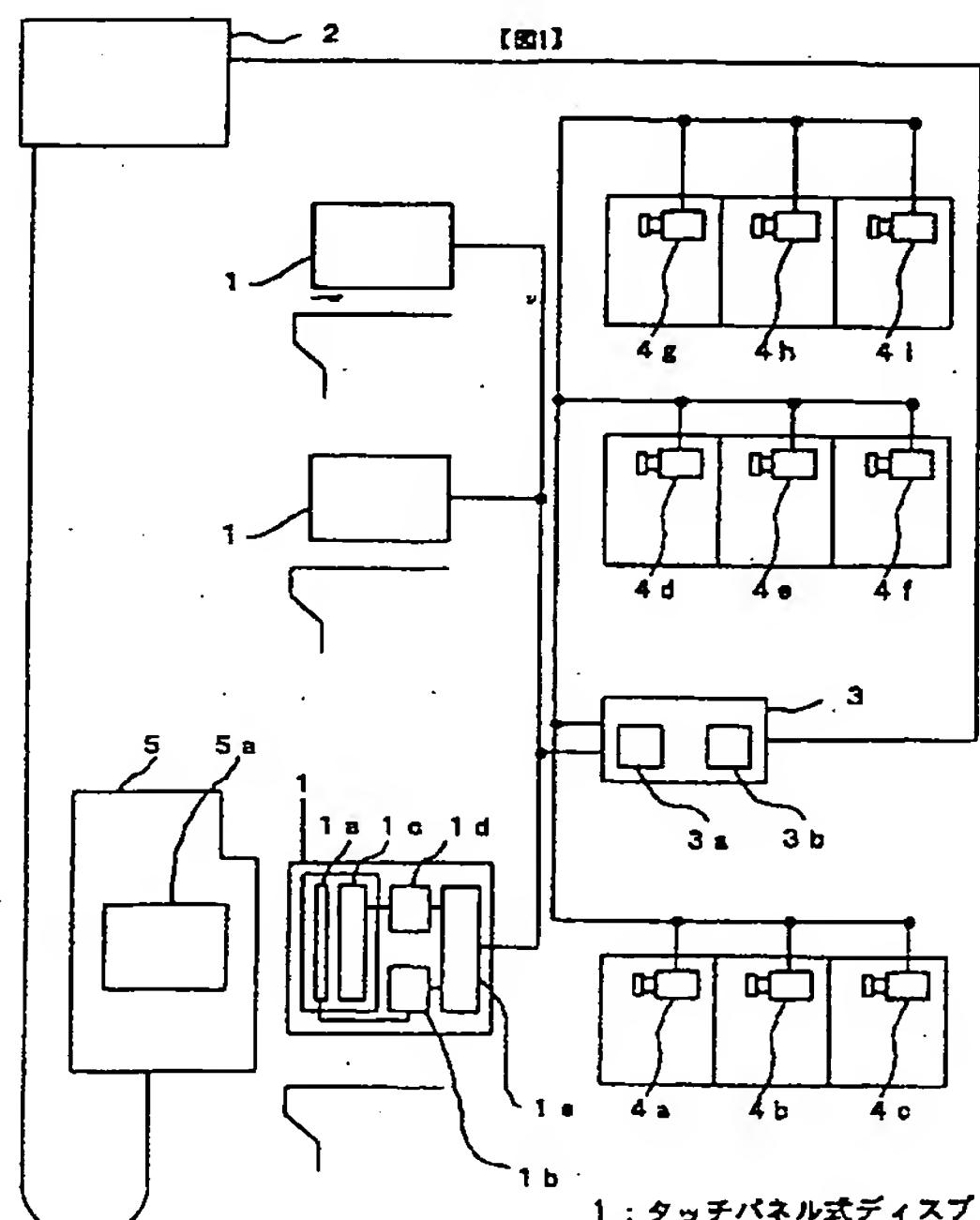
(74) 代理人 弁理士 武 顯次郎 (外2名)

(54) 【発明の名称】エレベータの行先階登録装置

(57) 【要約】

【課題】 案内者に尋ねることなく希望するテナントや店舗の入居階床を探すことが出来るエレベータの行先階登録装置を提供する。

【解決手段】 指のタッチ操作により操作信号を出力するタッチパネル式ディスプレイ1を階床の乗場および乗かご5の少なくとも一方に設置し、タッチパネル式ディスプレイ1に、テナント情報を表示すると共に画面制御を行なう中央処理装置3を設け、中央処理装置3に、タッチパネル式ディスプレイ1に表示されたテナントが選択されたとき、そのテナントが入居している階床を行先階として登録する登録手段を設けた。



1:タッチパネル式ディスプレイ
2:エレベータ制御盤
3:中央処理装置
4a, 4b, 4c, 4d, 4e, 4f: 階床選択ボタン
5:乗りかご
5a: 乗り場
1a, 1b, 1c, 1d: 乗車ボタン

【特許請求の範囲】

【請求項1】 行先階を指定して就役するエレベータの行先階登録装置において、階床の乗場および乗かごの少なくとも一方に配設したタッチパネル式ディスプレイと、このタッチパネル式ディスプレイに入居しているテナント情報を表示すると共に画面制御を行なう中央処理装置とを設け、この中央処理装置に、上記タッチパネル式ディスプレイに表示されたテナント情報をタッチ選択したとき、そのテナントが入居している階床を行先階として登録する登録手段を設けたことを特徴とするエレベータの行先階登録装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はエレベータの行先階登録装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来のエレベータの行先階登録装置として、特開平3-279172号公報に記載されているように、乗場に行先階を指定する手段と、利用者に行先階の状況を表示する手段を設け、乗場で行先階を指定したとき建物のテナント、たとえば食堂の混雑状況や店舗の営業状況等を文字により表示して、無駄な行先階登録を抑制してエレベータの運転効率を高めようとしたものが知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来のエレベータの行先階登録装置は、利用したい階床を指定するようにしているため、利用したいテナントが入っている階床がはっきりしている場合には問題ないが、不明な場合には案内に尋ねなければならなかつた。また、エレベータの乗かごは常に利用者がいる階で待機しているとは限らないため、乗場でしばらく待たされることがあり、その間退屈してしまうことがある。

【0004】 本発明の目的とするところは、案内者に尋ねることなく希望するテナントや店舗の階床を探すことができるようとしたエレベータの行先階登録装置を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は上記目的を達成するために、行先階を指定して就役するエレベータの行先階登録装置において、階床の乗場および乗かごの少なくとも一方に配設したタッチパネル式ディスプレイと、このタッチパネル式ディスプレイに入居しているテナント情報を表示すると共に画面制御を行なう中央処理装置とを設け、この中央処理装置に、上記タッチパネル式ディスプレイに表示されたテナントがタッチ選択されたとき、そのテナントが入居している階床を行先階として登録する登録手段を設けたことを特徴とする。

【0006】 本発明のエレベータの行先階登録装置は、エレベータのホールなどにタッチパネル式ディスプレイ

を配設し、タッチパネル式ディスプレイの表示から利用したい店舗等を選択すると、その店舗等が入居している階床が行先階として登録される登録手段を設けたため、所定のタッチ操作を行なった後、到着したエレベータに乗り込むだけで希望するテナントや店舗の階床に行き着くことができ、案内者に階床を尋ねたりする必要がない。

【0007】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の実施の形態を図面によって説明する。図1は、本発明の一実施の形態によるエレベータの行先階登録装置のシステム構成図である。エレベータの各階のホールにはタッチパネル式ディスプレイ1がそれぞれ配設しており、このタッチパネル式ディスプレイ1は、タッチパネル1aと、これを制御するタッチパネル制御装置1bと、タッチパネル1aの表示を行なうディスプレイ装置1cと、このディスプレイ装置1cを制御するディスプレイ制御装置1dと、必要な情報を送信する通信装置1eで構成されており、必要な情報はエレベータ制御盤2と連動した中央処理装置3で制御されている。この中央処理装置3は、各テナントの広告、宣伝映像および各テナントの階床などが格納されているテナント情報記憶部3aと、各テナントの情報をディスプレイに表示したり表示内容の制御やエレベータへの運動制御などを行なう制御部3bとを有しており、要所に配設されたビデオカメラ4a～4iの映像情報を取り込みタッチパネル式ディスプレイ1上のディスプレイ装置1cに配信する機能を有している。さらに、この中央処理装置3は、予め入力された情報を記憶すると共に、タッチパネル1aでのタッチ操作により選択した情報に基づいて、エレベータ制御盤2と連動させてエレベータの乗りかご5の操作盤5aを操作することなしに乗りかご5の行先階登録を行なう登録手段を構成している。

【0008】 次に、タッチパネル式ディスプレイ1のタッチパネル1aの画面構成を説明する。図2は検索システムの表示画面であり、タッチパネル1aの表示画面の下方に配置したひらがな等の文字入力に必要なキーボード11aと、このキーボード11aで入力された文字列を表示する表示窓11bと、「検索」や「キャンセル」などの操作指示を行なうための操作部11cなどから構成されている。エレベータの利用客は、様々なテナントや店舗が入居しているビルを利用する場合、このタッチパネル1aをタッチ操作して自分の行先階を登録することができ、容易にエレベータに指令することができる。例えば、様々なジャンルの店舗が入居した建物を利用する場合、利用客はまずキーボード11aで自分の行きたいジャンルのキーワードを入力する。「化粧品」「玩具」など様々入力を行なえるが、ここでは「レストラン」と入力した場合を示している。もちろん、店舗名を記憶している場合は直接店舗名を入力することができ

る。「レストラン」と入力し、表示窓11bでそれを確認した後、操作釦部11cの「検索」をタッチ操作すると、その情報は図1の通信装置1eを通じて中央処理装置3に送信され、ここではその建物に入居し開店しているレストランの情報が検索されて中央処理装置3に送信され、そこで必要な情報が検索されて中央処理装置3からタッチパネル式ディスプレイ1に配信される。

【0009】図3は、その検索結果により表示される画面を示している。この画面は、その中央に検索された「レストラン」の店舗名を表示する店舗名表示部12aと、下方に表示された操作を行なうための操作釦部12cとを有している。そこで利用客は、店舗名表示部12aの中から自分の好みに合致する店舗を選びその部分をタッチ操作すると、その店舗の階床情報は通信装置1eを通じて中央処理装置3に送信され、この中央処理装置3の登録手段によってエレベータ制御盤2に行先階が登録される。このようにして自動的に行き先階が登録されているので、利用客は当該エレベータの乗りかご5に乗り込めば、乗りかご5の操作盤5aを操作しなくても目的のレストランがある階床まで容易に行くことができる。

【0010】さらに利用客は、図2に示したタッチパネル式ディスプレイ1のタッチパネル1aの画面で、選択された店舗の画像をビデオカメラ4a～4iの中から選択して表示するようにすることもでき、この場合、利用客はその店舗の混雑状況などをリアルタイムで知ることができまた実際にその階に行かなくても操作釦部12cの「キャンセル」釦をタッチ操作して、行き先階の登録をキャンセルすることもできる。また、店舗を選択したと同時に中央処理装置3に記録されている情報を呼び出して、レストランであればその店のメニューや料金などを表示するようにすることもできる。

【0011】図4は、他の実施の形態におけるタッチパネル式ディスプレイ1の最初の表示画面を示している。中規模ビルなどで店舗の種類や店舗数が少ない場合、タッチパネル式ディスプレイ1は、図4に示すように「レストラン」「ブティック」等の業種別選択釦部14aを予めタッチパネル1aに表示しておく。このとき利用客は、タッチパネル1aのタッチ操作によりすぐに希望する業種を選択することができ、「レストラン」を選択したとすれば、上述した図2の検索のシステムと同様の機能で、図3に示す検索結果の表示画面を得ることができる。

【0012】このようにエレベータの各階のホールにタッチパネル式ディスプレイ1を配設し、タッチパネル式ディスプレイ1から業種を選択あるいは入力した後、表示される店舗のリストから利用したい店舗をタッチ操作で選択するだけでエレベータの行先階登録を行ない、また呼び登録することができ、到着したエレベータに乗り込むだけで希望するテナントや店舗の階床に行き着くことができる。

とができ、案内者に階床を尋ねたりする必要がなくなる。

【0013】図5は、さらに他の実施の形態におけるタッチパネル式ディスプレイ1の最初の表示画面を示している。ここでタッチパネル式ディスプレイ1の最初の画面は、図5に示すような各店舗の広告画面を中央処理装置3からタッチパネル1aに配信して表示している。この画面は、中央に広告画面部15aを配設し、下方には図2に示したキーワード検索画面や、図4に示した業種別検索画面を呼び出す操作釦部15bを配設しており、これらの操作釦部15bにタッチすることにより画面を切り替えることができる。このようにタッチパネル式ディスプレイ1は、その利用初期状態において広告媒体として活用することもできる。この広告画面部15aは、それにタッチ操作しただけで行先階登録を行なう登録手段を備えることもでき、現在表示中の部分にタッチすれば上述の場合と同様に中央処理装置3に連動したエレベータ制御盤2に行先階を登録することができる。

【0014】また、上述したタッチパネル式ディスプレイ1の各画面で行先階を登録した場合、図6に示すように行先階登録済確認画面16を表示させ、この表示によって利用客に行先階が登録されたことを知らせる。

【0015】尚、上述の実施の形態では、各階床乗り場にタッチパネル式ディスプレイ1を配置したが、情報を必要とする利用客が多い階床にだけタッチパネル式ディスプレイ1を配置しても良い。また上述の実施の形態では、タッチパネル式ディスプレイ1を階床の乗り場に配置したが、乗りかご内にタッチパネル式ディスプレイ1を配置しても良く、また、これらの少なくとも一方に配置しても良い。

【0016】

【発明の効果】以上説明したように本発明によるエレベータの行先階登録装置は、所定の位置にタッチパネル式ディスプレイを配設し、タッチパネル式ディスプレイからタッチ操作で利用したい店舗等を選択するだけでエレベータの行先階を登録する登録手段を設けたため、案内者に階床を尋ねたりすることなく、到着したエレベータに乗り込むだけで希望するテナントや店舗の階床に行き着くことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態によるエレベータの行先階登録装置のブロック図である。

【図2】図1に示したエレベータの行先階登録装置におけるタッチパネル式ディスプレイの検索システムの表示画面を示す図である。

【図3】図1に示したエレベータの行先階登録装置におけるタッチパネル式ディスプレイの検索結果の表示画面を示す図である。

【図4】図1に示したエレベータの行先階登録装置におけるタッチパネル式ディスプレイの業種別選択画面を示す図である。

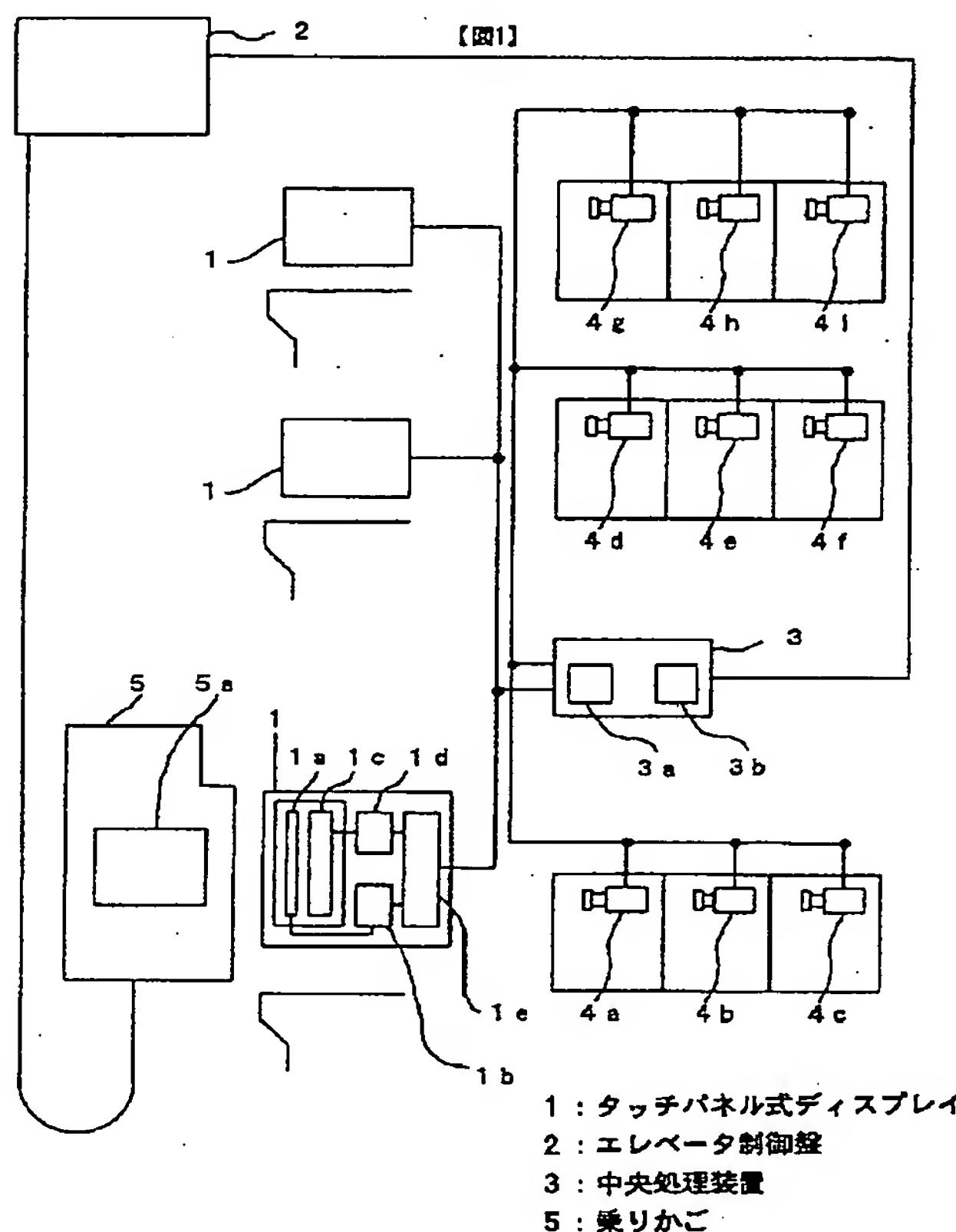
す図である。

【図5】図1に示したエレベータの行先階登録装置におけるタッチパネル式ディスプレイの広告画面を示す図である。

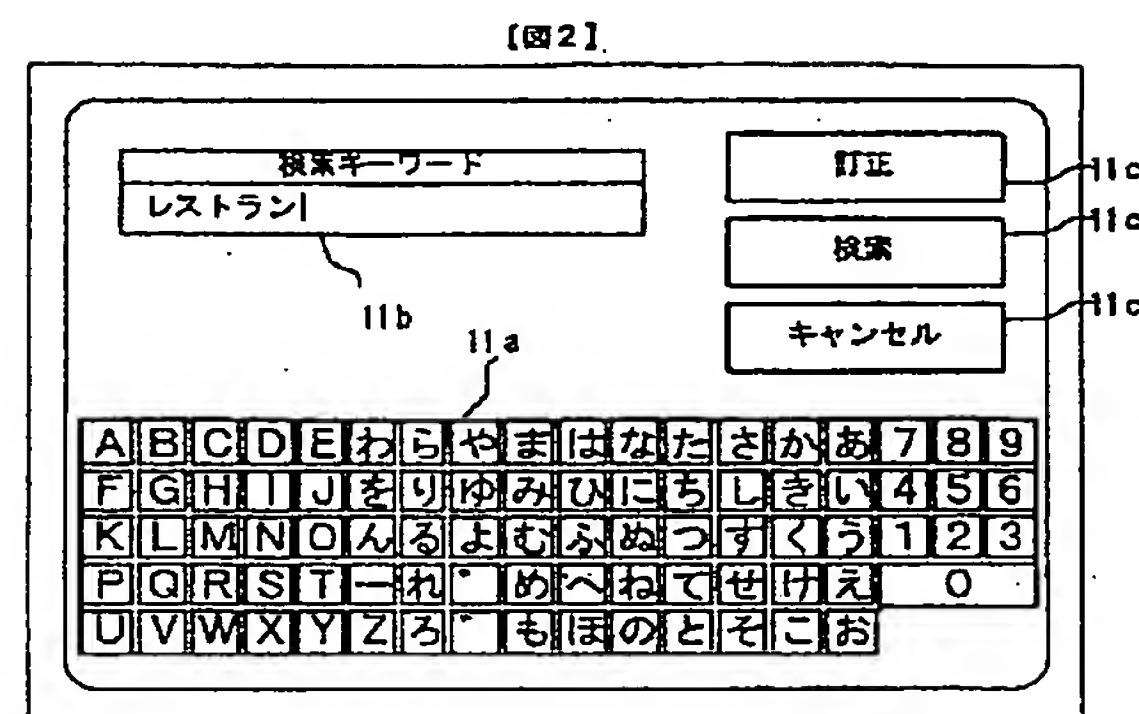
【図6】図1に示したエレベータの行先階登録装置におけるタッチパネル式ディスプレイの行先階登録済確認画面を示す図である。

【符号の説明】

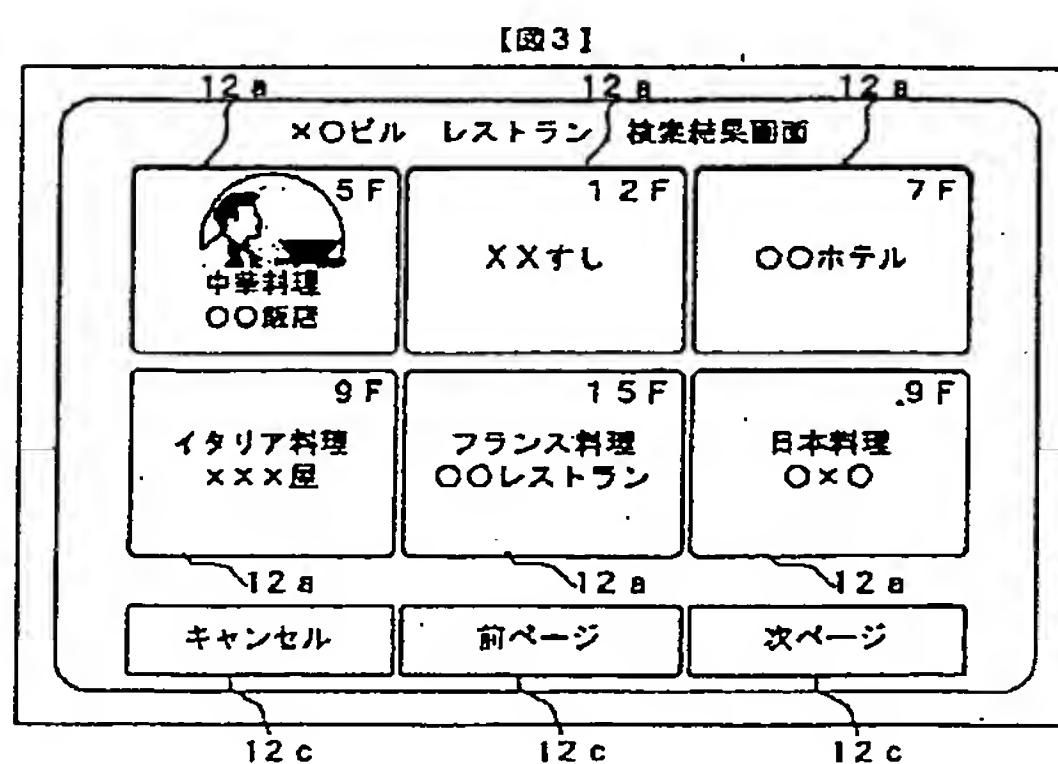
【図1】



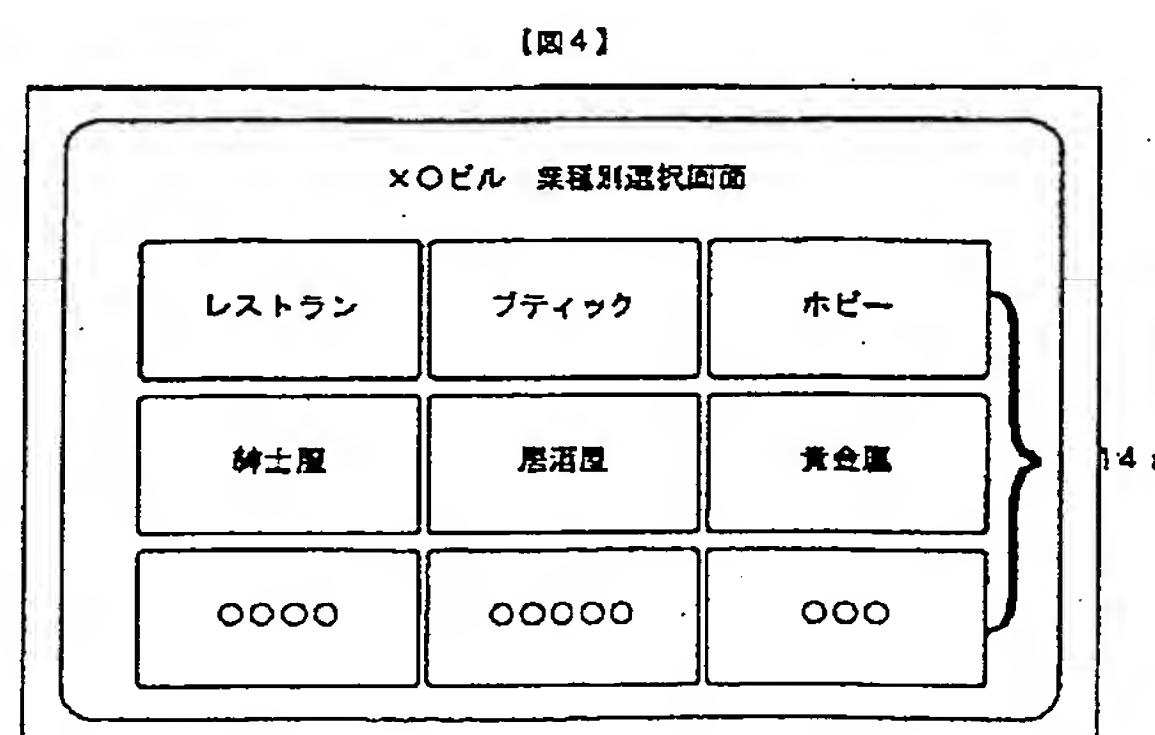
【図2】



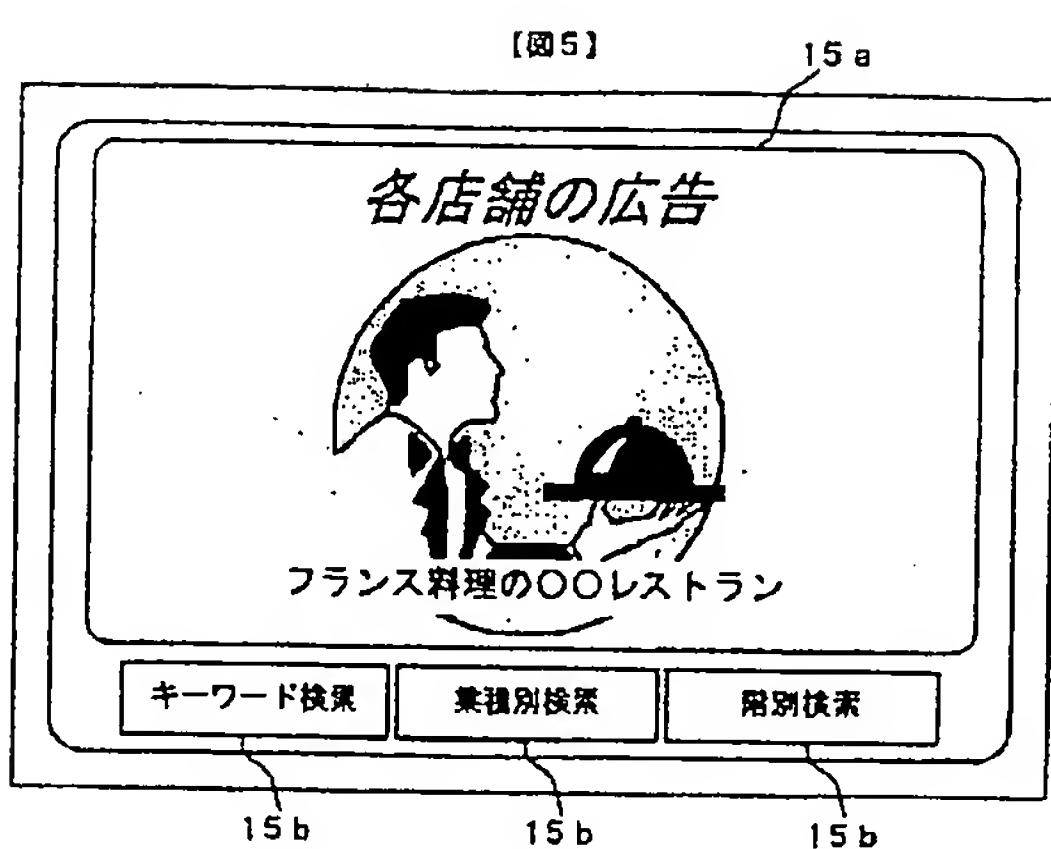
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

